

研究協力のおお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

COVID-19の流行が及ぼす急性中毒の臨床的特徴に関する実態調査
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年1月～2021年6月に昭和大学病院で急性中毒の治療を受けられた方
2. 研究目的・方法 急性中毒の発生件数は2019年の中毒情報センターの年間受信件数によれば30,462件と多く、社会的な問題となっています。2020年3月に新型コロナウイルス感染症（coronavirus disease 2019：以下、COVID-19）によるパンデミックが宣言され、外出自粛や飲食店の営業が規制されたことにより経済や精神的にも大きな打撃を受けており急性中毒患者の発生に影響している可能性があります。そのため、本研究では3次救急に対応している昭和大学病院救命救急センターにおいて実態調査を行い、COVID-19の流行が及ぼす急性中毒患者の臨床的特徴を明らかにし、今後の自殺予防対策について検討することを目的としています。症例の収集・解析は昭和大学病院 薬剤学講座が担当します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 7月 31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 情報：年齢、性別、中毒原因物質、中毒の理由、合併症、既往歴、職業、治療経過
5. 外部への試料・情報の提供 該当しません。
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和大学病院（薬学部病院薬剤学講座） 氏名 玉造 竜郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（薬学部病院薬剤学講座） 氏名：玉造 竜郎

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8467